

定例研究会要旨

日時：平成 24 (2012) 年 12 月 5 日 17:40~19:40

会場：東京外国語大学 語学研究所

題目：「ヴォイスとその周辺 ~中国語~」

発表者：加藤晴子（東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授/中国語学）

中国語には、形態変化を伴うヴォイスの体系は存在しないが、ヴォイスを「動詞の表わす動作」を中心とした、「動作主(Agent)」と「受動者(Patient)」の文中での現われ方」と捉えれば、それを変更する手段は中国語にもある。関連する表現を並べてみる。

能動表現：	A		V(R)	P。	[V：動詞，R：結果を表わす要素]
受動表現：	P	被	(A)	VR。	[被：BEI，Aは省略可]
	P	叫/让	A	VR。	[叫：JIAO/让：RANG，Aは省略不可]
処置表現：	A	把	P	VR。	[把：BA]
使役表現：	A	叫/让	P	V(R)。	[叫：JIAO/让：RANG]

受動表現には結果を表わす要素 R (以下列文中の下線部)が重要であり、動詞が強い影響力を持つ動作を表わすものでない限り、(1)の受動表現から R を取り去った(2)は成立しないが、“被(A)”を取り去った(3)は受動者主語文として成立する。のみならず、受動者主語文に“被(A)”を加えると却って不成立となる場合さえある(4)。このことから受動表現の成立には“被(A)”よりも R が重要であることが確認される。またこの際、“被(A)”の付加が可能か否かは、「迷惑の感情・被影響感」の有無によると見られることから、このような感情移入も中国語の受動表現成立の重要な要素であることがうかがわれる。

- (1) 奖状被(小王)写错了。賞状が(王さんに)書き間違えられた。
- (2) *奖状被(小王)写了。賞状が(王さんに)書かれた。
- (3) 奖状 写错了。賞状が書き間違った。
- (4) *信 被(小王)写好了。手紙が(王さんに)書き上げられた。

処置表現にも R が重要であり、動作主が、動作の結果受動者にどのような状況をもたらしたかを重点的に表現する。(6)は(7)より緊急性の高さを感じられるという。

使役表現では、R は常に必須という訳ではなく、必ずしも動作及びその結果の実現を含意しない。そのため受動・使役共通の“叫/让”を使った場合、R がある時は受動の読みとなり(5)、ない時は使役の読みとなる(7)ことがある。このこともまた、受動表現の成立には R が重要であることを示唆する。

- (5) 司机叫乘客弄下车了。 運転手は客に車から降ろされた。
(6) 司机把乘客弄下车了。 運転手は客を車から降ろした。
(7) 司机叫乘客下 车了。 運転手は客を車から降りさせた。

参考文献

- 石村 広 2005 「類型特徴から見た中国語の受動文」『成城文藝』第 192 号 pp.142-128
大河内康憲 1997 「被動が成立する基礎 —日本語などとの関連で—」『中国語の諸相』白帝社 pp.115-134 (『中国語学』第 220 号(1974 年)初出)
木村英樹 2012 「ヴォイスの意味と構造」『中国語文法の意味とかたち——「虚」的意味の形態化と構造化に関する研究』白帝社 pp.187-213
斎藤純男 2010 『言語学入門』三省堂 pp.94-96
三宅登之 2009 「行為連鎖の観点から見た中国語の“被”構文」『語学研究所論集』第 14 号 pp.33-64